

地方創生拠点整備交付金及び地方創生推進交付金の検証について

交付金名称：地方創生拠点整備交付金

交付金対象事業の名称	事業概要・目的	交付対象事業に要する費用(円)	交付金充当額(円)	重要業績評価指標 (KPI)			町の整理内容		推進会議による検証結果
				指標	目標値(R6.3)	単位	実績値(R6.3)	町の整理内容	
福島町青少年交流・人材育成拠点施設整備事業 【令和4年度】ハード事業	・青少年交流センター「新潮学舎」建設 【整備内容】 木造2階建 A=814.185㎡ 宿泊個室24室、ゲストルーム(ツイン)4室 講演・学習スペース コミュニティラウンジ、レストラン(食堂兼用) 各室エアコン冷暖房、Wi-Fi環境 ほか	353,655,900	149,457,000	この施設を通じた延べ利用者数	4,320	人	338	○令和4年度に施設整備を完了した。 個室棟24室、ゲストルーム4室 最大32名宿泊可能 ○本格的な供用開始は令和5年度からとなったので、KPIの実績はいずれも0人となっている。 ○令和5年度は地域みらい留学の生徒4名と町外から通学生徒1名が個室棟を利用している。 ○令和6年度の入学生29名のうち、町外からの入学生は24名(うち渡島西部四町以外の道内11名、道外11名)となった。	A 十分に効果がある
				この施設を通じた移住定住者の延べ人数の増加数	0	人	5		
				この施設を通じたテレワーク等の利用者の延べ人数の増加数	60	人	338		

交付金名称：地方創生推進交付金

交付金対象事業の名称	事業概要・目的	交付対象事業に要する費用(円)	交付金充当額(円)	重要業績評価指標 (KPI)			町の整理内容		推進会議による検証結果
				指標	目標値(R6.3)	単位	実績値(R6.3)	町の整理内容	
高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト(連携地方公共団体数：69団体) 【令和4・5年度】ソフト事業	地方における最後の教育機関となる高校を地域の維持・発展のための重要な基盤として位置づけ、地域住民や地元企業、大学等の参画を得ながら、下記により「次代の地域を担う人材の育成」「新たな若者の流れづくり」の実現を図る。 1. 地方の魅力的な教育環境を全国の先駆的な自治体と一体となって都市部へ届け、地方の高校進学という選択肢をつくる 2. 高校と地域の協働により魅力ある教育環境をつくる 3. 高校卒業生が地域と関り続ける仕組みをつくる 4. 全国の自治体との共学共創によりスケールアウト(拡散・増殖)させる	19,869,658	9,934,000	「高校を核とした関係人口」の数(=地域みらい留学生徒数+卒業後も地元に関わった大学生・社会人数+地域外からの高校への応援者数)	635	人		○目標値は連携する69団体の合計となるので、実績値は省略する。 ○令和6年度の入学生29名のうち、町外からの入学生は24名(うち渡島西部四町以外の道内11名、道外11名)となった。	A 十分に効果がある
				「都市部での地方高校全国説明会」参加者数	430	人			
				「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数	120	件数			
				「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数	9	団体			

※評価の区分 「A 十分に効果がある」、「B 概ね効果がある」、「C 効果がやや不足している」、「D 効果が不足している」